<b>亦必</b> 45	) /PJ																				
						(Plan)	計	画	/ [0	o】 実施									【Check】 評価	/	【Action】 改善
施策を	番号 彩名	SDGs 基本言 ・ゴール を材 番号 主な事	十画の施策 構成する ≩業・取組	主事業管理	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)		の成果指標( R3年度	目標・実績) R4年度	R5年度	中期目標		R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等	R3年度 局施第 ) 評価	強化・見直した内容
					誰もが多様な働 き方や生き方をを 択でき、活力ある 豊かな社会を実現			目標	RI年度比 増加	RI 年度比 増加	RI年度比 増加								仕事と生活の両立が図らっていると感じる人の割合が 昇するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰	れ 上	
	ı		バランス	の輝 く社 会推	するため、企業等 の取組支援などを	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合		実績	66.3 %			RI年度 比増加 (R6年 度)	継続	7,475	6,911	減額	8,400	順調	実施や、企業へのアドバイザー・研修講師の派遣等、業への支援を継続して実施るとともに、事業の効果的PRを図る。また、市内企業女性活躍やワーク・ライフ	企 す な に	企業については、引き続き 各種支援を通じて意識改革を 一層推進していくとともに、
I -I (I)- 仕事	① と				調和(ワーク・ライフ・バランス) の推進を図る。			達成率	96.8 %										バランスの推進に係る情報 広く周知することで、取組の着手を促す。		企業のニーズを踏まえ、効率 的な事業実施や効果的なPRを 検討していく。 女性個人については、働く 女性・働きたい女性が、各々
子育の支援	立				働く女性・働き たい女性が、各 の希望に応じ、そ の個性と能力を十 分に発揮し輝ける			目標	単年度目標 なし	単年度目標なし	73 %								働く女性や働きたい女性 が、各々の希望に応じ、そ 個性や能力を十分に発揮し		カを十分に発揮して活躍できるよう、引き続きウーマン ワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業 援を行うとともに、時代のニーズを踏まえたスキルアッ
	2	④ <b>5</b> 女性: ⑧ 進事:	性輝き!推 事業 性輝き!推 会推 会推 進室 と は き き き き き き き き き き き き き き き き き き	アップや就職、創 業支援、子育等、 の両立支援等、幅 広く女性の就業を 支援するほか、	女性の就業率(25 〜44歳)	70% (H27年 国勢調 査)		_			73% (R5年 度)	継続	11,092	10,248	減額	9,300	順調	活躍できるよう、引き続きに広い支援を行う。子育て中女性の就業支援や女性のキリアアップ、起業支援などついては、常に最新の社会や勢や女性特有のニーズを踏	幅のヤに情	プ支援など、女性に寄り添っ た幅広い支援を行う。	
					ワーマンリークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。			達成率	_										えた企画を行い、より効果にな方法を工夫して行う。		

総務同			(Plan)	計	画  /	<b></b> ([	Do】 実施	3					4		[Check]	評価	/	Action】 改善
<b>松笙妥</b>	SDGs 基本計画の施策 主要 事業						(目標・実績)			成果の R4年度	R5年度	事業費	人件貫 (目安)	R3年度	R5年度り	こ向けて	R3年度	R5年度に向けて
·施策名	SDGs 基本計画の施策 主要 事業 が 京山 番号 主な事業・取組 課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	R3	年度	R4年度	R5年度	中期目標	カラック 方向性 予算額 (千円)	予算額	四増減 の増減	金額(千円)	事業評価	強化・見画 (課題に対する		局施第 ) 評価	後 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
(2)-① 政策・ 方針決					目単年標で	度目標	単年度目標 なし	23 %									順調	市職員の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進については、令和元年5月策定の「北九州市職員女性活
定の共画のが推進		女性職員の活躍 とワーク・ライ フ・バランスの推 進は一体的に取組	女性役職者(係長 級以上)比率 (教職員・消防職 員を除く)	17.6% (H30年 度)	実 21.	2 %			23% (R5年 度)									躍・ワークライフバランス推進プログラム」を着実に実施していく。特に、女性役職者の長期的・計画的な育成に資する研修等を通じて、女性の
1年2年		みを推進すること により相乗効果が 高まるため、女性 活躍性 また。			達成率	_												活躍推進を加速させる。 男女共同参画社会の形成の 推進にあたって効果的な取組 を実施するため、市民のニー
		く特定事業主行動 計画「女性活躍推 進アクションプラ ン(第2期:平成26 年度~30年度)」				度目標	単年度目標 なし	15 %										ズ等を踏まえながら講座など の事業内容の見直しに取り組 む。 「男女共同参画フォーラム
		と次世代育成支援 対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職	女性管理職(課長級以上)比率 (教職員・消防職員を除く)	13.6% (H30年 度)	実 績 14.	5 %			15% (R5年 度)						女性職員を対			in北九州」や「男女共同参画に関する広報啓発事業」の推進により、市民に対する広報活動を効果的に実施する。 コロナ禍での事業実施を契
	北九州市職員 女性活躍・ ワークライフ る ⑧ バランス推進	年度)」を整理・			達成率	_				- 継続 4,520	4,340	維持	10,475	順調	して、女性職員 成の意識付ける に、能力不安・ 和に向けた支援	員のキャリア₹ そ行うととも 両立不安のチ	形	機に取り入れたオンライン等による講義を積極的に進め、 これまで参加していなかった 若年層等を含めた幅広い層を
	S (IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	統合し、令和元年5 月に「北九州市職 員女性活躍・ワー クライフバランス 推進プログラム」			目単年標	度目標							,		また、女性役的・計画的な育 長級及び課長級 等を実施し、女	段職者の長期 所成のため、何 日を対象に研り な性管理職等の	修	見据えた事業を実施する。
		を策定した。組織	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	88.0% (H27年 度)	実 績 94.	0 %			95% (R5年 度)						比率向上を目指	<b>言す</b> 。		
		ため、性別にかかわらず活躍できる組織風土を醸成した。			達成率	_												
		育児や介護等のラインスを選択して イフスを選択する ででででででである。 ででいまれていまいまいまいました。			目 単年標 た	度目標												
		と働きがいを持っ	男性職員の育児休 業取得率	14.8% (H29年 度)	実 60.	3 %			30% (R4年 度)									
					達成率	_												

					[Plan]	計	画	/ [[	)o】 実施	i					<b>+</b>		【Check】 評価	/	[Ac	tion】 改善
施策番号 N	lo.	SDGs ゴール を構成する 主な事業・取組	主要事業所管	事業・取組概要	指標名等	現状値		の成果指標 R3年度	(目標・実績) R4年度	R5年度	中期	成果の 方向性 予算額	R5年度 予算額	事業費の増減	人件費 (目安) 金額	R3年度 事業	R5年度に向けて 強化・見直した内容	局	3年度 i施策	R5年度に向けて 強化・見直した内容
35% 2		並 主な事業・取組	課名			(基準値)		単年度目標なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	<b>労任庶日堙</b>	目標   R4年度	(千円)	(千円)	V//11 ///	(千円)	評価	(課題に対する改善方法 男女共同参画社会の所 推進に向けたイベントな の開催、就業・キャリフ	が成のき講座	評価	(課題に対する改善方法等
				男女共同参画センター・ムーブに おいて、施設の運 営をはじめ、地域	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合※中期目標改訂	17.0% (R4年 度)		_			で のより のより (R9年 度)						プ支援、相談事業などを 業計画に基づき実施し、 の意識改革に繋げている 男女共同参画社会の刑 一層推進するため、より の方が関心を持って参加	、市。成多で		
	4	<b>⑤</b> 男女共同参画 の <b>⑧</b> センター管理 へ <b>⑩</b> 運営事業	性輝 紅 紅 維 推	職・再就職に向け た就業・キャリア			成率	_				- 継続 244,088	244, 088	3 維持	8,950		るイベントや講座となる 継続的にテーマや事業 見直しを検討する。 【中期目標の変更内容】 令和4年度に実施した	法の		
		(T)		アップ支援、表 がは相様々、男 を開し、会の形 が進する。	男女共同参画社会	79 40/	標	単年度目標なし	80 %	単年度目標なし	R4年度 の水準						意識調査の結果を踏まえ期目標の見直しを行う。 ①性別による固定的役割 意識に肯定的な人の割合 H29年度の水準より減少	.、中 J分担 (R4		
	参画社	1年近9 つ。	という言葉の認知度 ※中期目標改訂	78.4% (R4年 度)	持	_			より増 加 (R9年 度)						年度)⇒R4年度の水準。 少(R9年度) ②男女共同参画社会とい 葉の認知度 80%(R4年度)⇒R4年度	う言				
							達成率	_									準より増加(R9年度)			
				地域における男 女共同参画の推進			目標	単年度目標なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標なし							「男女共同参画フォーin北九州」及び「男女共画に関する広報啓発事業 実施する団体それぞれし、イベント内容や参加の幅を広げる工夫を行う引き続き働きかけ、市民	同参を 対象 よう		
	5	4 ・ 女の を 女の を 会	大性	を図るため、地域で活動している団	性別による固定的 役割分担意識に肯 定的な人の割合 ※中期目標改訂	17.0% (R4年 度)	実績	_			R4年 のより より (R9年 度)	継続 3,421	3,508	維持	5,050		意識改革に繋げていく。 オンライン形式を取りた開催を積極的に進め、対象拡大に繋げていく。 【中期目標の変更内容】 令和4年度に実施した	啓発		
				に関する理解を深める。			達成率	_									受和4年度に実施した 意識調査の結果を踏まえ 期目標の見直しを行う。 性別による固定的役割名 識に肯定的な人の割合 H29年度の水準より減少 年度)⇒R4年度の水準。 少(R9年度)	、中 注意 (R4		

		-			[Plan]		画		o】 実施									goneon's strip		Action】 改善
号 No. SDGs ゴール 番号	基本計画の を構成す 主な事業・1	を策る 反組	主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)		の成果指標( R3年度	(目標・実績) R4年度	R5年度	中期目標		R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等
5				誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現			目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加								仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が上 早するように、女性活躍・ ワークライフバランス表彰の		企業については、引き総各種支援を通じて意識改革 一層推進していくとともに 企業のニーズを踏まえ、交 的な事業実施や効果的なP 検討していく。
6 8	ワーク・ラ フ・バラン 推進事業	イ σ マス く 会	性輝社推室	するため、企業等 の取組支援などを 行うとともに、様 学や地域での様々 な活動と連携しな がら仕事と生活の	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合	68.5% (RI年 度)	実績	66.3 %			RI年度 比増加 (R6年 度)	継続	7, 475	6,911	減額	8,400		実施や、企業へのアドバイザー・研修講師の派遣等、企業への支援を継続して実施するとともに、事業の効果的なPRを図る。また、市内企業に女性活躍やワーク・ライフ・		市内企業等のイクボス については、当該同盟の の拡大を目指すとととい 市全体の機運醸成を図る 市職員の女性活躍やワ ク・ライフ・バランスの については、令和元年5月
				調和(ワーク・ラ イフ・バランス) の推進を図る。			達成率	96.8 %										バランスの推進に係る情報を 広く周知することで、取組へ の着手を促す。		定の「北九州市職員女性」での「北九州市職員女性」で、クライフバラン進プログラム」を着実にしていく。
							目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加										
				働く人の幸せ、	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合	68.5% (RI年 度)	実績	66.3 %			RI年度 比増加 (R6年 度)									
5	5 北九州イクボ 7 <b>③</b> ス同盟推進事 ⑦ 業		性	生産性・業績の向 上、人材確保に繋 がり、その先にあ る「働きやすいま ち北九州」を目指			達成率	96.8 %					g 455	5 <i>9</i> 55	減額	9 550		経営者・管理職の意識改革 を図るための研修会等を引き 続き実施するとともに、「イ		
(T)		Ź	室	年度に設立した 「北九州イクボス 同盟」を推進し、 経営者・管理職の			目標		単年度目標なし	単年度目標なし		14E 117E	,, 100	3,733	IIA UK	7,000		クボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。	1	
				意識改革を図る。	ダイバーシティ行 動宣言等登録・届 出企業(累計)	597社 (H26年 度)	実績	1,523 社			I,600社 (R6年 度)									
							達成率	_												

総務向			[Plan	】計	画	/ [[	o】 実施							<b>+</b>		[Check]	評価	/ [A	ction】 改善
施策番号N	SDGs 基本計画の施策 主要 事業 が で構成する 主な事業・取組 課名	事業・取組概要	IL IX O be	事業現状値	評価	の成果指標		05 45 45	中期	成果の	R4年度 予算額	R5年度 予算額	事業費の増減	人件費 (目安) 金額	R3年度 事業	強化・見直	[した内容	R3年度 局施策	R5年度に向けて 強化・見直した内容
ルス石	0. 1 元 を構成する 所管 主な事業・取組 課名		指標名等	(基準値)		R3年度 ———	R4年度	R5年度	目標	刀門住	(千円)	(千円)	<b>サブロール</b>	(千円)	評価	(課題に対する	改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
		女性職員の活躍			目標	単年度目標 なし	単年度目標なし	80 %											
		とワーク・ライ フ・バランスの 進は一体的に取取 はより相乗効果が により相乗効果が 高まるため、女性 活躍推進法に基づ	両立しながら新た な業務等にチャレ ンジしたいと思う 職員の割合	(出26年		_			80% (R5年 度)										
		く特定事業主行動 計画「女性活躍推 進アクションプラン(第2期:平成26 年度~30年度)」 と次世代育成支援	5		達成率	_													
	北九州市職員 女性	対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職 員ダイバーシティ 推進プログラム			目標	単年度目標なし	30 %	単年度目標なし	次期計							ワーク・ライ推進関連研修等	の実施を通じ		
8	大力 大力 女性活躍・フ 女性活躍・フ 女性活力 フル 女性の イカークン プログラン で で で で で で で で で で で で で	年度)」を整理・	男性職員の育児休 5 業取得率	14.8% (H29年 度)		60.3 %			画に けR5年 度 定 定 定	継続	4,520	4,340	維持	10,475	順調	て、イクボス実 ジメント力強化 育児参画をとで、 る女性活躍とて フ・バランスの	と男性職員の に着実に進め 市職員の更な ーク・ライ		
		推進プログラム」 を策定した。組織 の持続的な成長と 多様化する市民 ニーズへ対応する			達成率	_													
		ため、性別にかか わらず活躍でき成 組織風土を醸成し、全ての職員が 育児や介護等のラ イフスタイルの変			目標	単年度目標 なし	単年度目標なし	95 %											
		- 化に方を選択いた 働きで、いいを持っ ことでがいいを持っ と働きできる職 で活躍できる職場	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	68.0%		94.0 %			95% (R5年 度)										
		を目指す。			達成率	_													

				[Plan]	計	画	/ [0	0】 実施							•		[Check]	評価	/ [/	Action】 改善
施策番号 No. ゴール	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要			評価の	の成果指標(			中期	成果の		R5年度	」于木貝	人件實 (目安) 金額	R3年度 事業		に向けて 直した内容	R3年度 局施策	R5年度に向けて 強化・見直した内容
・他東名	主な事業・取組	所管 課名		指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	R5年度	目標	方向性	(千円)	予算額 (千円)	の増減	(千円)	評価		る改善方法等)	評価	(課題に対する改善方法等)
性別に よる人 9 ⑩ 権侵害	基本計画推進 事業(配偶者 等からの暴力	女のく会進性輝社推室	は、重大な人権侵 害であることを誰 もが認識し、暴力 を容認しない意識	おける「平手で打つ」について、暴	76.8% (R4年 度)	標	単年度目標なし	80 %	単年度目標なし	R4年水り加 (R9度)	継続	5,853	5, 288	減額	5,050		要小にどの高予トい 【 意期配手認で・関も意校防配く 中令識目偶で識り学る頃の大室の 目年査の等つる、生副か醸学、取 標度の見と」人の場合のでは、 は、 は	すなのなどなどででである。 男を男図で発どででいるでいいでいます。 女用女るのりをでいるでいいでいまではいいではいでいまででいまででいまででいまででいまではいいできないできないできない。 おくので発ができますが、できないでは、できないでは、できまではいいでは、できまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	順調	若年時からの意識改革は重要であり、男女共同参画の意 悪の醸成を図る取組や、 大学開催などでのデートDV予 防教室開催などを継続してい く。

心伤问				[Plan]	計	画 / 【	Do】 実施							<b>—</b>		[Check]	評価		Action]	改善
施策番号	SDGs 基本計画の施策	主要事業			事業詞	評価の成果指標	(目標・実績)			成果の	R4年度	R5年度	事業費	人件實 (目安)	R3年度		に向けて	R3年度		度に向けて
・施策名	SDGs 基本計画の施策 ・ユール を構成する 主な事業・取組	主事所課名	事業・取組概要	指標名等	現状値(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業 評価		直した内容 る改善方法等)	局施策 評価		見直した内容 対する改善方法等)
II-3- (2)-④ 女性の 活躍推		<b></b>			(至千亿)	目 単年度目標標 なし	単年度目標なし	23 %	口作		(111)	(113)		(111)	BT    W	(DIV C	- /	順調	市職員の ク・ライフ については 定の「北カ	)女性活躍やワー リ・バランスの推選、令和元年5月策 」州市職員女性活
E			女性職員の活躍 とワーク・ライ フ・バランスの推 進は一体的に取組	女性役職者(係長級以上)比率 (教職員・消防職員を除く)	17.6% (H30年 度)	実 21.2 %			23% (R5年 度)										進プログラ していく。 長期的・言 る研修等を	・ム」を着実に実が 特に女性役職者の ・通じな育成に資で ・通じて、女性の流
			みを推進すること により相乗効果が 高まるため、女性 活躍推進法に基づ く特定事業主行動			達成 — 率				_									についてに の拡大を目	□速させる。 〔等のイクボス推奨 【、当該同盟の一層 □指すとともに、2 『運醸成を図る。
			計画「女性活躍推 進アクションプラン(第2期:平成26 年度~30年度)」	女性管理職(課長	12 40/	目 単年度目標標 なし	単年度目標なし	15 %	15%										女性・働き の希望に応 力を十分に	については、働くたい女性が、各々ない。その個性や能 発揮して活躍でき  き続きウーマン
			と次世代育成支援 対策推進法に基づ く特定事業主行動 計画「北九州市職 員ダイバーシティ	級以上)比率 (教職員・消防職 員を除く)	13.6% (H30年 度)	実 績 I4.5 %			(R5年 度)							リア研修やメ	対象としたキャンター研修を通		ワークカラ したワンス 援を行うと	さ続さり  マン   'エ北九州を拠点と  トップでの就業する  ともに、時代の   まえたスキルア
1	0 8 パークライブ	の輝 く社	年度)」を整理・			成 — 率				- 継続	4,520	4,340	維持	10,475		成の意識付けに、能力不安 和に向けた支持	・両立不安の緩		た幅広い支 次世代記 て、社会に	「躍応援事業につい 「おいて女性が自ら
	(I) プログラム推 進事業	進室	クライフバランス 推進プログラム」	部課長級の多面評	88.0%	目 単年度目標標 なし			95%							的・計画的な 長級及び課長系	育成のため、係 級を対象に研修 女性管理職等の		て活躍する 代から性別 分担意識を	ジカを十分に発揮し かためには、学生の けによる固定的役割 なくし、理工系分 なな進路に興味関へ
			の持続的な成長と 多様化する市民 ニーズへ対応する ため、性別にかか	価「イクボスIOか 条を実践できてい る管理職の割合」	(HOR H	実 績 <sup>94.0</sup> %			(R5年 度)										を持てるよ 要である。 今後とも んでいない	: うにすることが重 ・、女性の活躍が過 ・分野を中心に、 F
			わらず活躍できる 組織風土を醸成 し、全ての職員が 育児や介護等のラ イフスタイルの変			成 — 率				_									しながら、 業務体験 <i>σ</i>	2理工系企業と連打 出張講義や実験 対提供等による女子 3選択を支援してい
			化に応じて柔軟な 働き方を選択する ことで、いき持っ と働きがいを持っ	田林聯旦の本口川	14.8%	目 単年度目標標 なし			次期計画に向											
			て活躍できる職場 を目指す。	男性職員の育児休 業取得率	(H29年 度)	実 績 60.3 % 達			けR5年 度中に 策定予 定											
						成 — 率														

		> =		(Plan)				o】 実施							(At 415)		[Check]			Action】 改善
手号 No. SDGs ゴール 番号	基本計画の施第 を構成する 主な事業・取組	主事所課	事業・取組概要	指標名等	事業 現状値 (基準値)	評価の	の成果指標( R3年度	行標・実績) R4年度	R5年度	中期目標	成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に 強化・見直 (課題に対する	[した内容	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法
		いた。			(4 1 10)	目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加			(113)	(113)		(113)	<u> </u>			ат іш	
			働く人の幸せ、	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合		実績	66.3 %			RI年度 比増加 (R6年 度)										
	北九州イクホ ス同盟推進事		生産性・業績の向撃 人材確保ににある「働きやすい」を ちょう			達成率	96.8 %				- 継続	9,455	5, 955	減額	9,550	順調	を図るための研 続き実施すると	ともに、「イ		
	業	会推進室	すために、平成29 年度に設立した 「北九州イクボス 同盟」を推進し、 経営者・管理職の			目標	単年度目標 なし	単年度目標なし	単年度目標 なし		74470	,,,,,,,	,,,,,	7,450	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7913	クボス」及び「 ス同盟」の認知 き方改革の機運 成を図る。	度向上や、働		
			意識改革を図る。	ダイバーシティ行 動宣言等登録・届 出企業(累計)		実績	1,523 社			I,600社 (R6年 度)										
						達成率	_													
	2   女性輝き!推   後   後事業		働く女性・働き たい女性が、じる の希望に応じたま力 の個性と能力を十 分に発揮し輝ける			目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73 %								働く女性や働 が、各々の希望 個性や能力を十	に応じ、その		
12 8		女のく会進性輝社推室	よう、キャリアアップや、子を就で、一次では、子をでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	女性の就業率(25 〜44歳)	70% (H27年 国勢調 査))		_			73% (R5年 度)	継続	11,092	10,248	減額	9,300	順調	活躍できるよう 広い支援を行う 女性の就業支援 リアアップ、起 ついては、常に	、引き続き幅 。子育て中の や女性のキャ 業支援などに 最新の社会情		
			ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。			達成率	_										勢や女性特有の えた企画を行い な方法を工夫し	、より効果的		

総務何					[Plan]	計	画	/ [0	)o】 実施						<b>+</b>		[Check]	評価	/	【Action】 改善
施策番号	No. 3	JDGs 基本計画の施策 ・-ル を構成する を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要				の成果指標(	(目標・実績)		uh. ₩n	成果の R4年度	R5年度	事業費	人件貫 (目安) 金額	R3年度	R5年度に 強化・見直		R3年)	
・施策名	1	主な事業・取組	所管 課名	子不 小瓜似女	指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	R5年度	中期 目標	方向性 予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業 評価	(課題に対する		局施: 評価	/\ /\mn=.          \delta   \delta   \delta
						70%	標	単年度目標なし	単年度目標なし	73 %	73%									
					女性の就業率(25 ~44歳)	(H27年 国勢調 査)		_			(R5年 度)									
							成率	_				-								
					ウーマンワークカ		目標	3,380 人			3,500人						引き続きウー フェ北九州を拠	はたしたワン		
			<del>/ ,</del>	女性の就職・ キャリアアップ・	フェ北九州新規利 用者数	_	実績達	1,797 人			(R6年 度)						ストップでの女 を行ううえで、 用促進に向け、	より一層の和 効果的な広幸	日日	
	13	⑤ ウーマンワー ( <b>⑧</b> クカフェ北九	の輝	創業などをワンス トップで支援する			成率目	53.2 %				- 継続 32,616	32, 278	維持	6,800	遅れ	を行う。また、 の女性の就業意 するよう、オン	は識の向上に資 √ライン相談の	至 D	
			進室	カフェ北九州」を運営する。	ウーマンワークカ		標実		33 %	34 %	35%						拡充や未就業女なキャリアカウ 新規実施を通し	ワンセリングφ ,て、子育て δ	2	
					フェ北九州利用者の就職決定率	_	績達成				(R6年 度)						の両立など女性 や悩みに寄り添 化を図る。			
							率目		6,300 人	6,400 人		-								
					ウーマンワークカ フェ北九州相談者		標実績		0,000 /(		6,500人 (R6年									
					数		達成				度)									
							率 目 標	単年度目標 なし												
					女性の就業率(25 ~44歳)	国勢調		_			73% (R5年 度)						/ M - M 133 /			
				女性の就職促進 を目指し、性別に よる固定的な価値		查)	達成率	_			/2/						女性の活躍が 分野への若年層 動機づけを行う	の進路選択の ため、市内語	) 高	
			観や生きが、 を対している。 な性にでいる。 な性にでいる。 な性にでいる。 はたがいる。 はたがいる。 はたがいる。 はたいのは、また、ものでは、また。は、また、ものでは、また。は、また、ものでは、また。は、また。は、また。は、また。は、また。は、また。は、また。は、また。	観や生き方を払拭 するため、学生の 頃から「多様な働	研究・職業体験プ		目標		300 人								等教育機関と市して、子ども・階に合わせた研究のできない。	学生の成長月 F究・職業体験	<b>受</b>	
	14	④ ⑤ 次世代活躍応 ❷ 垺惠丵		き方」などの啓発 に取り組む。	研究・脳条体験 7 ログラム参加者数		実績				500人 (R6年 度)	継続 2,200	2,200	維持	4,825	順調	プログラムの提 ルモデル提供な ことを支援する	どに取り組む		
		i		生室 学生の成長段階にあわせた研究・職業体験プログラム	※指標廃止		達成率										【指標廃止・追本事業の成果 して、研究・職	との効果測定と		
			の提供に取り組	の提供に取り組む 高等教育機関を支 援する。	研究・職業体験プ ログラム参加者へ		目標			80 %	R5年度 の水準						して、研究・順元・順元 との がまれる と考えるた	アンケート約 がより適切で	吉	
			援する。		のアンケート結果の満足度	_	実績				より増 加 (R9年						のうるとうんるに	. W) <sub>0</sub>		
					※指標追加		達成率				(R9平 度)									

総務局					[Plan]	計	·画	/ [0	)o】 実施	i						4		[Check]	評価	/	
施策番号・施策名	No.	SDGs 基本計画の施策 ゴール を構成する 番号 主な事業・取組	主要事所智	事業・取組概要	指標名等		評価	の成果指標( R3年度		R5年度	中期目標	成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に 強化・見証 (課題に対する	に向けて 直した内容	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容
			平和	では、 「まのとのでは、 がよりでは、 がよりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できいいが、 でもいがいが、 でもいが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 でもいがが、 にもいががが、	(仮称)平和資料 館の建設	_	目標実	建築工事作 来 本 ま 年 東 本 本 ま 年 東 本 本 ま 年 東 本 本 ま 年 東 本 ま 年 東 本 ま 年 の ま 本 ま 年 の ま 本 ま 年 の ま 本 ま 年			(仮称) 平和資 料館の 建設						U 100	引き続き、3	ュージアムの		
Ⅱ-3- (4)-①のへ の で 理解	15	● ミュージアム 管理・運営事 業	ージ 事務 局	組む。 また、、には、ないないでは、はないのでは、はないのでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	平和のまちミュー ジアム年間来館者 数		早 目標 実績 達成率		50,000 人	50,000 人	50,000 人 (毎年 度)	_ 継続	42,000	39, 185	減額	30,050		円滑な企画とをしています。	がめるほか、 講座等を実施		ミュージアムの円滑な運営に加え、様々な企画展を実施するなど、来場促進に務める。 また、引き続き「嘉代長子桜・親子桜」の植樹や子崎が主催する「青少年ピースクリフォーラム」への小中高校生
の促進			平 和 ま	本する基ででは、本では、本では、本では、本では、本では、本では、までは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まりでは、まり	市民が平和の尊さ		目標	_	_	-	市民が平和の							長崎市が主催 ピースとの派遣の 高校生を考え事され 平和派引き続き新	親子で平和の :めの「長崎市 等について		の派遣、親子で平和の尊さを 考えるための「長崎市平和派 遣事業」等に取り組み、戦争 の記憶を後世に伝えていく。
	16	進争業 -	ミーア事局ュジム務	た記こに「桜市どた施、憶と伝嘉」へ、様さのの平々なら子植市民に異常なる子植市民に異なる子様でのの平々な。 いる代 子崎なし実	を理解し、共有し	_	実績達成率	_					10,000	10,000	維持	13,950	順調	ルス感染症の息 徹底したうえて	染防止対策を "実施する。 親子桜・高い かくでも、 かくなも、生育調		

				[Plan]				o】 実施							<b>4</b>		[Check]	評価	/ [	Action]	改善
施策番号	SDGs No. コール 番号 基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要事業所管	事業・取組概要	114 177 50 450		評価の		目標・実績)	0- <i>1</i>	中期	成果の	R4年度 予算額	R5年度 予算額	1 平木貝	人件費 (目安) 金額	R3年度 事業	R5年度に 強化・見画		R3年度 局施策	_, .,	度に向けて 見直した内容
心水石	*** 主な事業・取組	課名	I la a / M a H	指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	R5年度	目標	万円任	(千円)	(千円)	の増減	(千円)	評価	(課題に対する	る改善方法等)	評価	(課題に対	する改善方法等)
	北九州市自治	W ztr	本市の自治の基 中のルルル州市の 本的ルルル州市(平 が 大本条例1日か中で で を を り は を り は た に た に た に た り に た り に り に り に り た り た	市民が主役の自治		目標	_	_	-	市民自							活動や職員に対 実施する。また の関心が低い者	、特に市政へ 告い世代への周			
<b>Ⅲ</b> -3-	17  基本条例推進事業	課	所めう有点いまるのに のまは民業例のり職行 を知た人業では を対した がより、 をはまり、 をがいる。 でい。 でいる。	ででは、		実績達成率	_			治の確 立 - -	継続	1,110	2,510	増額	4,650	順調	知を図るため、 前講演な、令和6. の自治基本条例 会で必査を 識調査を 実施す	双り組む。 年度開催予定 削評価検討委員 5項目の市民意		治)の確立 条例に対す	役の自治(住民自 に向け、自治基本 る理解を深め、市
(3)市画働め組く①参協た仕づ		行政	が が が が が が が が が が が が が が	民間事業者からの 提案受付件数(累 計)	_	目標 実績 達成率		5 件	10 件	20件 (R4~ R6年 度)							る、公民連携終 にあたり、田した が、民間サー た公民連携の推	₹連携アドバイ ≿内部の意識醸 - ビスを活用し ŧ進を図り、事		い活まなたが継、公し活まな活用案には、のでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	の参実民連内ーる強を推例い進ができまり、進れができるができるができるができるができるができるができるができる。のが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
	事業	経課	携窓間の地域にという。 関係 という という という という という という という はいっこう はいいっこう はいいい はいいっこう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	新規獲得分の命名 権料 (年額)	_	目標 実績 達成率		10,000 千円	10,000 千円	新たな税外の確保		6, 100	5,000	減額	4,775		業者からよりまけるようないまれた、制力のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	双り組む。 ≷型ネーミング こついては、 型店との連携に			
<b>Ⅲ</b> -3-			誰もが多様な働 き方や生き方を選 択でき、活力ある 豊かな社会を実現			目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加								ていると感じる 昇するように、 ワークライフ/	女性活躍・ バランス表彰の		各種支援を 一層推進の 一層 で 単一 で 単一 で 単一 で 単一 で まままる で まままる で は で まままる で まままる で は で まままる で まままる で まままる で しゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	
(3)-③ 企地動参進 動参進	⑤ ワーク・ライ ③ フ・バランス ⑩ 推進事業	の輝 く社 会推			68.5% (RI年 度)	実績	66.3 %			RI年度 比増加 (R6年 度)	継続	7,475	6,911	減額	8,400		実 ボ ボ ボ ボ ・ の と の と の と の と の と の と の と の と の に 。 や ・ の と の と の に の と の に に の に に の に の に の に の に に の に に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	Fの派遣等、企 業続して実施す ■業の効果的な □、市内企業に - ク・ライフ・	順調	女性・働きにからない。 かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう カファイン カファイン カファイン カファイン カファイン かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	については、、働各とでが、性価のではが、性がのではが、性がでは、他性ではが、はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで
			イフ・バランス)の推進を図る。			達成率	96.8 %										広く周知するこ の着手を促す。	ことで、取組へ		ニーズを踏	ともに、時代の まえたスキルアッ 、女性に寄り添っ 援を行う。

総務局					(Plan)	計	画	/ [0	)o】 実施	i						<b>+</b>		[Check]	評価	/	【Action】 改善	
施策番号	lo.	SDGs 基本計画の施貨 を構成する 音号 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業意	評価	5の成果指標(	I		中期	成果の	R4年度 予算額	R5年度 予算額	事業費	人件實 (目安) 金額	R3年度 事業	R5年度に 強化・見直		R3年 局施		
- 旭東石	1	<sup>番号</sup> 主な事業・取組	田 所管課名		指標名等 女性の就業率(25 ~44歳)	(基準値) 70% (H27年	績	R3年度 単年度目標 なし 一	R4年度	R5年度	73% (R5年 度)	力问性	(千円)	(千円)	の増減	(千円)	評価	(課題に対する	改善方法等)	評価		方法等)
№-3-①者業のや開就動支2	20 (	④ ⑤ 次世代活躍点 <b>③</b> 援事業 ⑩	の輝く社 会推	をよ観す頃きに 学あ業の女目るやるか方取ま生わ体験性指固生たら」りたのせ験に成たがっな組、成たプロないが、的方、多どむ子長研口取職性なを学様の。ど段究グリ促別価払生な啓 も階・ラ組進に値拭の働発 ・に職ムむ	研究・職業体験プログラム参加者数※指標廃止	_	達成率 目標 実績 達成率		300 人		500人 (R6年 度)	継続	2,200	2,200	維持	4,825	順調	女野機教でにつせと 指本でののけ機子わラル支 廃業研でにつせる 痛事、躍年行ともたの供す ・成・躍年行ともたの供す ・成・選にの第	のた内学究供ど。 加の対策をはいるのでは、業の職が成業性ののでは、のの対策をはいる。 からのでは、 のの対策をは、 のの対策をは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	の高隽殳検・コーニー	世界 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	発学的工味と 活心業や揮生役系関が 躍にと実し時割分心重 が、連験て代分野を要 進市携・
<b>技</b>				高等教育機関を支援する。	研究・職業体験プログラム参加者へのアンケート結果の満足度 ※指標追加	_	目標 実績 達成率			80 %	R5年度 の水り よか にR9年 度)							ラム参加者への 果の満足度の方 あると考えるた	がより適切っ		学生の進路選択を支持	援してい
N-3- (2)-② 女活る都く推 の がす業づの				男女共同参画ブションのではじた。 学ではいるではではできません。 学ではできません。 学ではできません。 おいてはできません。 はいては、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も			標	_	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標なし	R4年度 の水減 より少 (R9年 度)							推のプ業の 一のる継 共向、、に改共進関ンに 時け就相基革同す心トテ をた業談づに参るをやー	ベキ業実げ社めっ座とトリアを、くの形りでも、のよ参加のよりかるようないのようなないのようなる。 たいかん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	区 / 事民 ・ ここう	推進にたるまで、コによにないをできまる。 コによにないが直 事才極にないがらし 業 でれをこ若居れてあるよかい層を まる しい でれを こ	的民講に 実ラに参をなの座取 施イ進加含取ニなり をンめしめ組一ど組 契等るてた
2	21		画 の輝 星 く社 会推	同り職たアいど展参推 参画が再業プ相様し社す を一・就ッは、開画社す で開発・支談々、会る で成にゃ、業事女形 が、のりあな業共成	男女共同参画社会という言葉の認知度 ※中期目標改訂	78.4% (R4年 度)	率目標	単年度目標なし	80 %	単年度目標なし	- R4年年度 のより加 (R9年 度)		244, 088	244, 088	維持	8, 950	順調	極紀 見 にを にを にを にを にを にを にを にを にを にも にを にも にも にも にも にも にも にも にも にも にも	る。 更施となって、 を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの を定人りの をできる。 を定人りの をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。	中旦或	施ででは、は、にるが中企業学のでは、は、にるが生まれた。とないで、の路の路がで、、個活が担な持で今でのな務生。女は、で、で、で、ので、のでで、のでで、ののでで、ののでで、のののでで、のののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののでで、ののので、のいるで、のでで、のので、ののので、の	性に、定理興こ 活心業やよ援が発学的工味と 躍にと実るし 自揮生役系関が が、連験女て らし時割分心重 進市携・子い

- 000	基本計画の施策	主要			事業	評価	の成果指標(	(目標・実績)			-12 PP -	R4年度	R5年度	<b>本业</b>	人件實 (目安)	R3年度	R5年度に向けて	R3年度	R5年度に向けて
号 No. ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	事業 所管 課名	事業・取組概要	指標名等	現状値(基準値)		R3年度	R4年度	R5年度	中期目標	成果の 方向性	予算額 (千円)		事業費の増減	<u>(日安)</u> 金額 (千円)	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策評価	
			たのの分よア業の広支ウフる利るのかのの分よア業の広支ウフる利るのは、一、じカ輝リ戦育等就か一のと得性が応能しゃ就子援のほワ州報獲性が応能しゃ就子援のほワ州報獲のはの州報獲のは、じカ輝リ戦育等就か一のと得い、で、業、ク更新をもって、業、ク更新をもって、業、ク更新をもって、業、ク更新を			目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73 %			11,092					働な性や働きたい女性を動きたいとないにの発生で動きたのではないのではないでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個		女性・働きたい女性が、 の希望に応じ、その活知した。 カを十分に発揮して活っているよう、引き続きウール フェルルででは、 フークカフェルルででは、
22 ( <del>4</del> ) ( <b>5</b> ) (0)	女性輝き!推 進事業	女のく会進性輝社推室		女性の就業率(25 〜44歳)	70% (H27年 国勢調 査)		_			73% (R5年 度)	F 継続		10,248	減額	9,300	順調			援を行うとともに、時代の ニーズを踏まえたスキルア プ支援など、女性に寄り添 た幅広い支援を行う。 市内企業等のイクボス推 については、当該同盟の一 の拡大を目指すとともに、
						達成率	_												市全体の機運醸成を図る
	北九州イクボ ス同盟推進事 業	女のく会進	生生上がるちす年「同経 を を 性人、動き が り、 が り、 が り、 が り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、 り、	仕事と生活の調和 が図られていると 感じる人の割合		目標	RI年度比 増加	RI年度比 増加	RI年度比 増加		1								
						実績	66.3 %							- <del> </del>					
5						達成率	96.8 %				2.14.24.5		5.055		9,550		経営者・管理職の意識改革 を図るための研修会等を引き 続き実施するとともに、「イ		
23 0						目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし		一、水生水化	1,433	3, 133	<i>小</i> 戏, 仓兵	1, 550		クボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。	)	
					597社 (H26年 度)	実績	1,523 社			I,600社 (R6年 度)									
						達													

総務局					[Plan]	計	画	/ [0	)o】 実施						4		[Check]	評価	/	【Action】 改善
施策番号	.	DGs 基本計画の施策	主要事業	古州 四加斯五		事業	評価の	の成果指標(	〔目標・実績〕			成果の R4年度	R5年度	事業費	人件實 (目安)	R3年度			R3年	
・施策名	No.	BOGS 基本計画の施策 ・ル を構成する 全様成する 全球事業・取組	所管 課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)		R3年度	R4年度	R5年度	中期 目標	方向性 予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業 評価	強化・見直 (課題に対する		局施第 評価	
					女性の就業率(25 〜44歳)	70% (H27年 国勢調 査)	標	単年度目標 なし 一 —	単年度目標なし	73 %	73% (R5年 度)									
		う ウーマンワー の輝	)輝 (	女性の就職・ キャリアアップ・ 創業などをワンス トップで支援する	ウーマンワークカ フェ北九州新規利 用者数	1 —	実績 達	3,380 人 1,797 人 53.2 %			3,500人 (R6年 度)	- 継続 32,616	4 22 25	8 維持	6,800		引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの女性の就業支援を行ううえで、より一層の利用促進に向け、効果的な広報を行う。また、特に子育て中の女性の就業意識の向上に資			
		⑩ 州運営事業 会	全推 建室 :	- 「ウェ北九州」をマンワー北方の一切である。	ウーマンワークカ フェ北九州利用者 の就職決定率	_	目標 実績 達成率		33 % 34 % 35% (R6年度)	7E 77			0,000		するよう、オンライン相談の 拡充や未就業女性への定期的 なキャリアカウンセリングの 新規実施を通して、子育てと の両立など女性の抱える不安 や悩みに寄り添った支援の強 化を図る。					
					ウーマンワークカ フェ北九州相談者 数		目標 実績 達成率		6,300 人	,	6,500人 (R6年 度)									
				女性の就職促進 を目指し、性別に よる固定的な価値 観や生き方を払拭	女性の就業率(25 ~44歳)	70% (H27年	標実	単年度目標 なし — — —			73% (R5年 度)		2,200				女性の活躍が進んでいない 分野への若年層の進路選択の 動機づけを行うため、市内高 等教育機関と市内企業が連携			
	25	が (5) 次世代活躍応 (8) 援事業 (9)	大性	するため、学生の あたら「多様の のでありります。 ではおいでではいる。 ではないででいる。 ではないででいる。 ではないでいないでいないでいないでいないでいる。 ではないでいるでいないでいないでいないでいないでいないでいないでいないでいないでいな	研究・職業体験プログラム参加者数 _ ※指標廃止	_	目標 実績 達成率		300 人		500人 (R6年 度)	継続 2,200		維持	4,825	順調	して、子ども・学生の成長段 階に合わせた研究・職業体験 プログラムの提供や女性ロー ルモデル提供などに取り組む ことを支援する。 【指標廃止・追加の理由】 本事業の成果の効果測定と			
			i	の提供に取り組む 高等教育機関を支 援する。	研究・職業体験プログラム参加者へのアンケート結果の満足度 ※指標追加	_	目標 実績 達成率				R5年度 のより加 (R9年 度)						して、研究・職業体験プログ ラム参加者へのアンケート結 果の満足度の方がより適切で あると考えるため。			

				[Plan]	計	画 /	/ [D	o】 実施							+		【Check】 評価	/ [	Action】 改善
施策番号 No. SDGs ·施策名 No. ST -ル	基本計画の施策を構成する	主要事業	事業・取組概要		事業評価の成果指標(目標・実績) 成果の R4年度 R5年度 事業費 (目安) R3年度								R5年度に向けて 強化・見直した内容	R3年度	-4 1 1 1.				
・施策名の番号	主な事業・取組	所管 課名	子术 机加帆女	指標名等	現状値 (基準値)	R	3年度	R4年度	R5年度	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	事業 評価	(課題に対する改善方法等	局施策 ) 評価	(課題に対する改善方法等)
			情信還分ン「「実様すジ究動「報」元野パ次情」々るアフを国の「」でで世報をな、女ォ支的集果あ女メ育供指業公交ラすな・のら性ン成のしを財流ムる最発地ゆのト」充、実)・の。新 域るエ」 施ア研活	定的な人の割合(			年度目標なし	H29年度 (26.7%)の水 準より減少	単年度目標 なし R4年度							「アジア女性会議」や市民		本市の男女共同参画社会の形成の推進に向け、課題意識	
VII-1-					役割分担意識に肯 17.0% 定的な人の割合 (R4年 度)	17.0% (R4年	実績	_		の水準 より減 少 (R9年 度)	咸	39,000 39,000 維		4,050		向けの研究報告会などの開 を通じて、男女共同参画に する意識の醸成に努める。 効率的・効果的な取組を めるとともに、女性の地位	選進		
(3)-③ 社会制 度や社 会問題	(公財) アジア女性交流・	女性の輝く社				達 成 - 率	_			(文)	- 継続		維持		順調	上と男女共同参画の形成の推 進に寄与し、「第4次北九州 市男女共同参画基本計画」の 重点取組に直結した事業に取	推   の		
1 0 0 m	11 元ノス ノ	<b>進室</b>		男女共同参画社会			手度目標 なし	80 %	単年度目標 なし	標 R4年度 のより加 (R9年 )							り組む。 【中期目標の変更内容】 令和4年度に実施した市民 意識調査の結果を踏まえ、中		や解決に繋がる取組を進めていく。
				という言葉の認知度 ※中期目標改訂	78.4% (R4年 度)	実績	_										期目標の見直しを行う。 男女共同参画社会という言 の認知度 80% (R4年度) ⇒R4年度の 準より増加(R9年度)		
						達成率	-										午より増加(N7十度)		